

城と史蹟を歩く会「上野公園周辺、寛永寺、谷中」ご案内資料

<日時> 平成13年4月6日(金曜日) 10時00分~16時30分(予定)

<主要行程> 八幡宿駅8時10分乗車 — 日暮里駅南口改札(スタート) — 天王寺 — 將軍御台所墓所 — 徳川慶喜の墓 — 寛永寺 — 將軍靈廟、勅額門 — 両大師 — 池田屋敷門 — 上野公園噴水周辺(昼食) — 清水堂 — 彰義隊の墓 — 黒門上野戦争最激戦地跡 — 上野東照宮(拝観料200円) — 上野駅(解散) — 東京駅 — 八幡宿駅18時00分ころ

1) 地名のいわれ

- ①日暮里=日の暮れるのを忘れるほど春秋の変化に富む。寺の門前町として発達。文人墨客の集まる風流の地「日暮らしの里」
- ②谷中=上野台地と駒込台地との間の藍染溪流の谷。坂の多い寺町
- ③鶯谷=鶯の多い谷
- ④上野=草しげる丘
- ⑤忍が岡=上野台地の古名。語源は不詳
- ⑥不忍池=古くは広沢。忍が岡に対するシャレ

2) 天王寺(旧感応寺)

- ①はじめ感応寺。日蓮宗不受不施派の中心的存在であったが元禄12年宗教論争に敗れ、追放、廃寺。寛永寺末寺、天台宗天王寺として再出発。明治維新の上野戦争で彰義隊を支援、寺域の大半を没収、縮小された
- ②目黒不動、湯島天神と並ぶ江戸3富の一つ。富突興行元。富突日は大盛況。富突=幕府公認の抽選懸賞金式賭博。あらかじめ当選金額を公表して抽選券を発売、富突で当選番号を決める。当初は1分(5万円くらい)で1万枚ほど発売。当選金額により千両富(2億円くらい)、5百両富、2百両富、百両富など。富突は寺社奉行立会い、木札を箱に入れ大きなキリで突き上げる。本来は寺社再建の捻出だが、利潤目的に変わる。裕福な寺。天保の改革で廃止
- ③銅造釈迦如来座像

3) 谷中の桜と天王寺五重塔跡

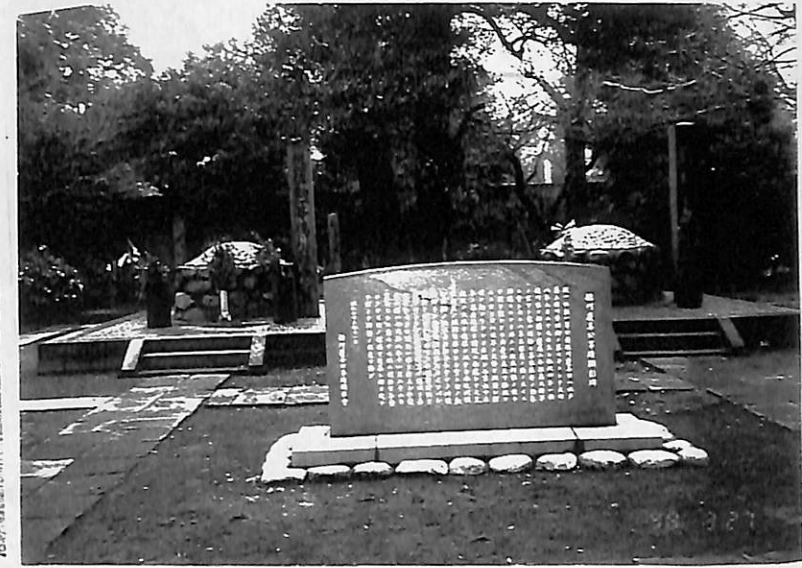
- ①江戸時代からの桜の名所。当時は夜桜もなく静かなお花見
- ②天王寺のシンボル五重塔跡。寛政3年建造、高さ34mあったが、昭和32年放火心中。礎石のみ



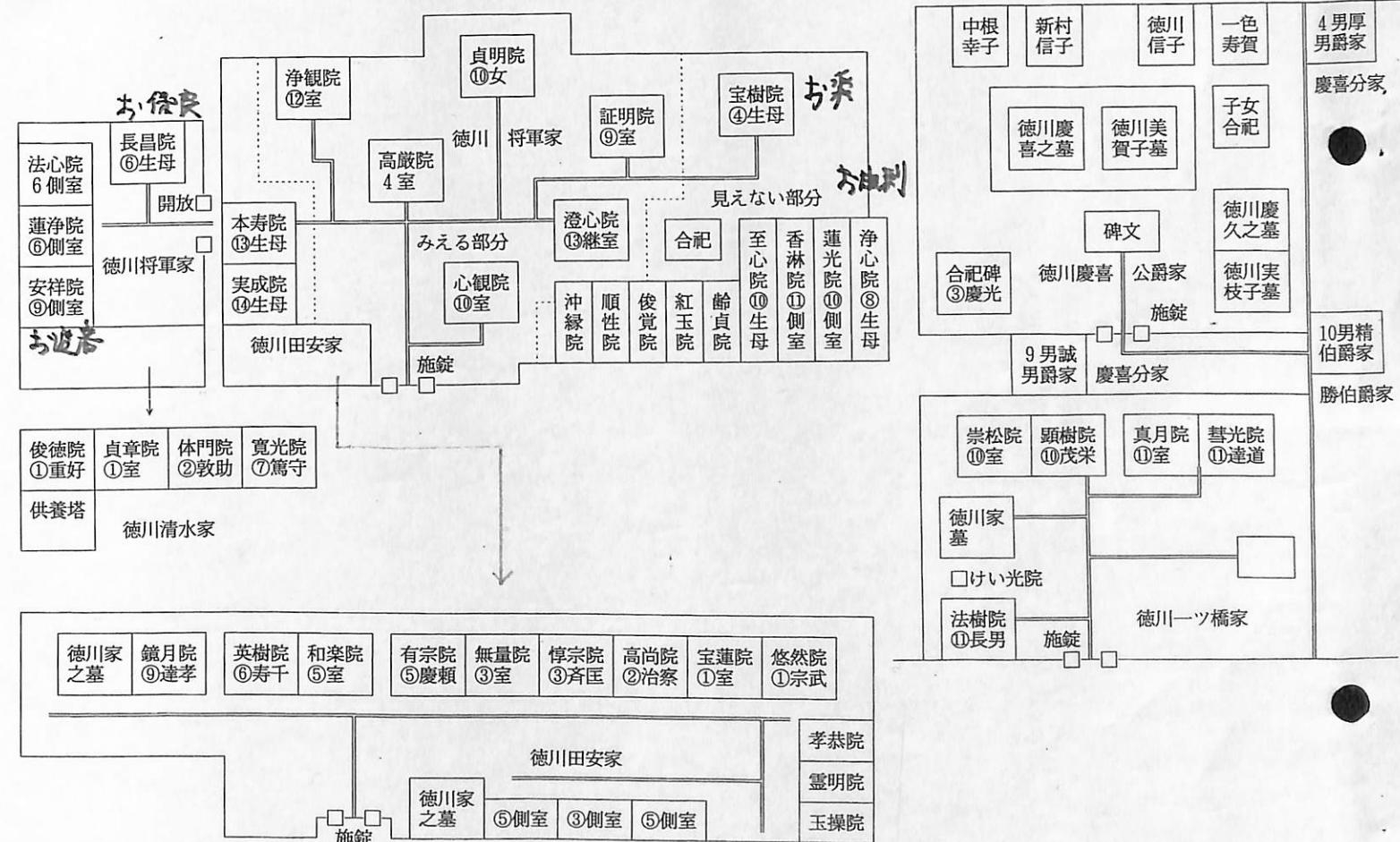
天王寺



將軍御台所墓所



徳川慶喜の墓



お徳川の方々



田安家墓所

4) 東京都営谷中霊園

- ①東京3大霊園の一つ。10万㎡。墓数7千基
明治5年彰義隊支援で没収された旧天王寺と隣接寺院、徳川家墓所を合わせた総称
- ②墓地は境界が入組んで見分けがつかない。大きい墓が寛永寺、小さくて区画標示は都営霊園

5) 6代将軍家宣生母お保良の方、清水重好生母お遊喜の方の墓

- ①お保良=3代将軍家光2男、甲府宰相15万石綱重側室。忍耐のうちに一生を終えた薄幸の美女千姫御殿に奉公に上がり手付き、綱豊(のちの7代将軍家宣)と松平清武を生むが正室迎え日陰者に。幼い2児の行く末を案じながら28才で逝去
- ②お遊喜=浪人の娘に生まれ旗本の養女として大奥入り。多病で言語不明、9代将軍家重の寵愛をライバルお幸と競って、2男御三卿徳川清水重好の生母となった

6) 御三卿徳川清水家

9代将軍家重の2男重好からはじまる。10万石。市原の宮原村、惣社村、神代村、馬立村など10か村などを所領とした。将軍家の一員として万一のとき宗家を継承する。維新後移葬

7) 御三卿徳川田安家

- ①8代将軍吉宗の2男宗武からはじまる。10万石
- ②維新後の移葬だが、初代宗武夫妻以下歴代卿主墓がならぶ

8) 将軍御台所墓所

- ①4代将軍家綱御台所浅宮頭子=伏見宮貞清親王の娘
宮家出身の姫は体が弱く子室に恵まれない。家綱も病弱。養子綱吉を迎える
高貴な女性は医師に直接身体を診察させない。「命ほしさに誇りを捨てたといわれるくらいなら死んだ方がまし」誇り貫いて病死
- ②9代将軍家重御台所比宮増子=伏見宮親王の娘
12代将軍家慶御台所楽宮喬子=有栖川親王の娘
13代将軍家定継御台所寿明姫の方=一条忠良の娘
- ③3代将軍家光側室、家綱生母お楽=ホモで正室孝子と別居。世継ぎなく側近らを悩ます
浅草寺で春日局に見出される。農家、罪人の娘など出自諸説。遅い世子の誕生
- ④8代将軍吉宗生母お由利の方=紀州藩郷士の娘。湯殿で紀伊光貞手付き、吉宗を生む

9) 徳川慶喜の墓

- ①徳川家最後の15代将軍。平成10年度NHK大河ドラマ主人公
- ②水戸斉昭7男、義(光圀)、列(斉昭)2公勤皇の血が流れる。徳川一橋家養子
13代将軍の継嗣騒動で紀伊慶福(家茂)と争って敗れる。大奥は水戸嫌い。家定唯一の意地通す。
井伊直弼の安政の大獄で蟄居、謹慎。桜田門の変後許される
慶応3-7 14代将軍家茂急逝、孝明天皇の命を受け徳川宗家15代将軍継承
" 3-10 大政奉還。引き続く新体制のトップめざす
" 4-1 鳥羽伏見の戦いに敗退。大阪城から江戸城に逃げ帰る
" 4-2 上野寛永寺大慈院に謹慎
" 4-4 江戸城開城、水戸に退く
" 4-7 養子家達静岡70万石に移封。世捨て人として書画、写真など趣味に生きる
" 35-6 公爵に列し別家を立てる
大正2-11 小石川小日向邸で逝去。77才
- ③御台所美賀子=今出川公久の娘、一条忠香養女。慶喜単身赴任のため大奥入りなし
別居ながく寂しい生涯
- ④側室=新村信子、中根幸子、女中頭=一色すがの墓
- ⑤慶喜家を継いだ7男慶久夫妻の墓
- ⑥4男厚=宗家分家男爵。5男仲博=池田鳥取侯爵家養子。9男誠=慶喜分家男爵。10男精=勝海舟伯爵家ムコ養子

10) ご三卿徳川一ツ橋家墓所

- ①8代将軍吉宗の4男宗尹からはじまる。10万石
- ②維新後移葬。初代宗尹以下は合祀。中央は最後の卿主茂栄夫妻
- ③一ツ橋時代の慶喜、美賀子長女で生後5日で亡くなったけい光院は墓碑もなく傍らに

11) 諸大名家墓所

- ①津山越前系松平10万石。巨大五輪塔は歴代合祀
11代藩主斉民の墓。11代将軍家斉16男。男子を廃嫡しての強引養子に持参金は5万石の加増
維新後宗家家達後見。葵紋石門、透垣、石灯籠、石垣上六角柱4m。さすが将軍の男子
- ②福山阿部11万石。5代正邦以降歴代藩主ら。幕末の老中首座正弘の五輪塔も。維新後移葬
- ③高松水戸系松平12万石。11代頼聡と明治以降伯爵家の墓

12) 房総知県事・柴山典の墓 (省略することがあります)

- ①慶応4-7~明治2-1の7か月間八幡宿に仮役所をおいた房総知県事
- ②久留米尊攘派藩士。新政府軍鑑。戊辰戦争収束過程の安房、上総の旧旗本領を没収統括、菊間水野藩、鶴舞井上藩転封に繋いだ。次の宮谷知県事で廃藩置県。しかし旧旗本領先納分処理の専権を糾弾され、新政府では上等裁判所判事にとどまった。明治17年没。63才

13) 大原重徳の墓

明治維新期の尊攘派公卿。行動派で文久2年島津久光に守られて江戸にくだり、幕府改革の勅旨の実行を迫った。王政復古後、政治の中枢にすすみ明治11年没

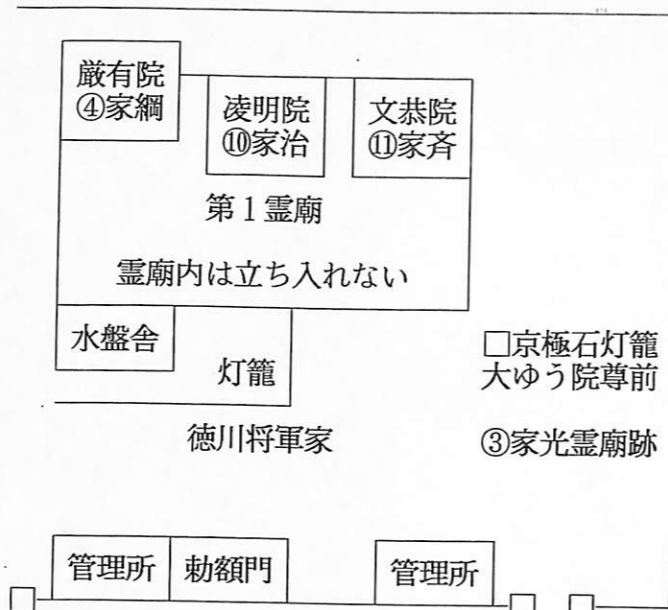
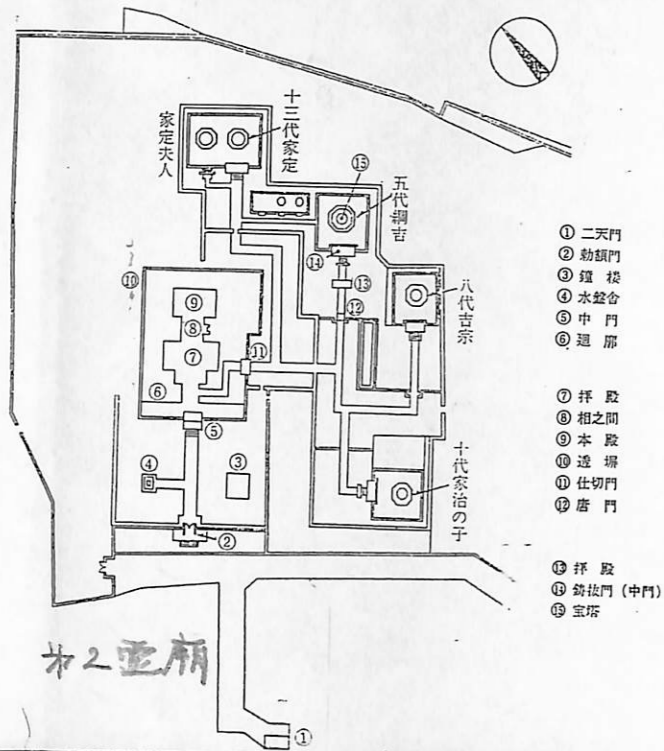
14) 東叡山寛永寺(旧大慈院跡)

- ①寛永2年、3代将軍家光が天海僧正に命じて建立。総奉行=土井利勝
江戸城の鬼門(東北)を鎮護し、国家の安穩、長久を祈願
- ②歴代門主は皇族から。上野の宮様、輪王寺宮(日光兼務)、格式は御三家しのぐ
最後の門主は公現法親王。伏見宮邦家親王9男。維新時22才。のちの北白川宮能久親王
- ③上野全山36万坪に祠堂子院70坊、本坊、根本中堂、五重塔など七堂伽藍。将軍家菩提寺
慶応4年(明治元年)朝敵とされた徳川慶喜が子院大慈院で謹慎。上野戦争で大半焼失。一部除き没収。6年上野公園誕生。12年大慈院に川越喜多院から本地堂を移築。寛永寺本堂とする
- ④慶喜謹慎の間、ご本尊木像薬師如来像、脇侍像、両界曼陀羅図(重要文化財)

15) 5代将軍綱吉霊廟

- ①3代将軍家光の4男。母は桂昌院。八百屋の娘から正一位にすすんだ日本女性最大の出世頭
- ②はじめ堀田正俊の補佐で善政。のち柳沢吉保、牧野成貞、松平輝貞を登用
世界に類をみない悪法「生類哀れみの令」を連発。人々は元禄の繁栄のなか悪政に泣いた
- ③権現造り御霊屋。殉死不許可の松平輝貞が寄進。本殿、拝殿、勅額門、二天門など
うち勅額門が現存。4脚門、前後唐破風切妻屋根銅瓦葺き。重要文化財





2 2) 寛永寺根本中堂跡と周辺史蹟

- ①根本中堂=元禄11年綱吉建立。東都随一とうたわれたが上野戦争で焼失
- ②小松宮像=鐘楼跡。左甚五郎の竜、不忍池水飲み伝説
- ③担堂=歌舞伎の佐倉惣五郎將軍直訴の地(史実ではない)
- ④仏塔パコダ=大仏殿跡。寛永8年製高さ5mの青銅大仏。顔部分を保存
- ⑤時の鐘=市中に時を知らせる。江戸に10か所。梵鐘は天明7年製
花の雲 鐘は上野か 浅草か (松尾芭蕉) 現在も朝夕、山本さんが鐘をつく

2 3) 上野東照宮 (拝観料200円)

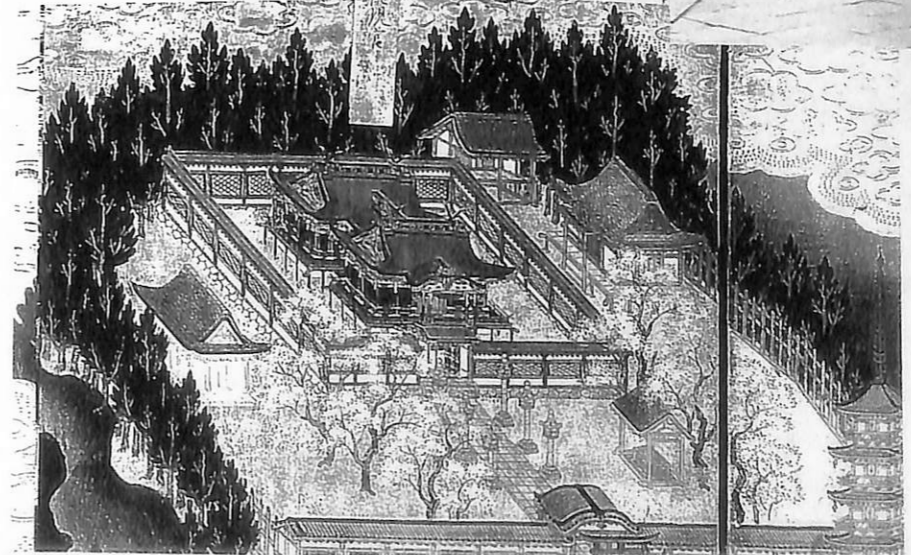
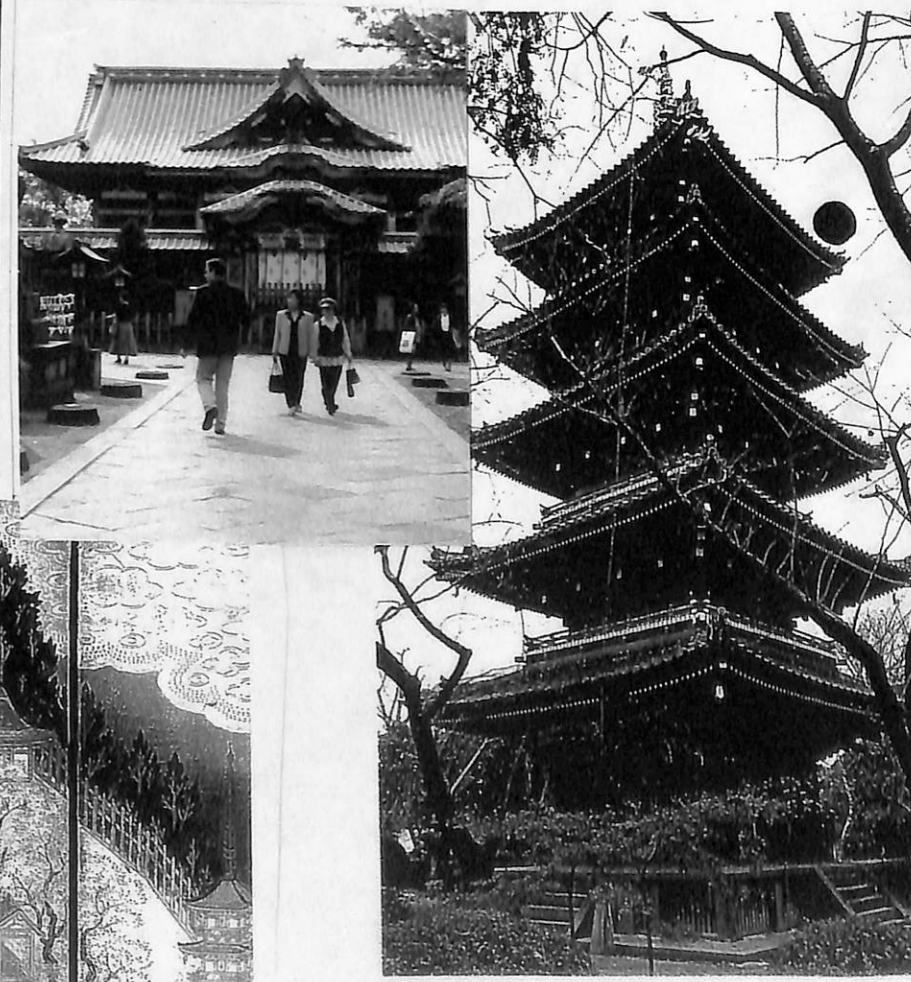
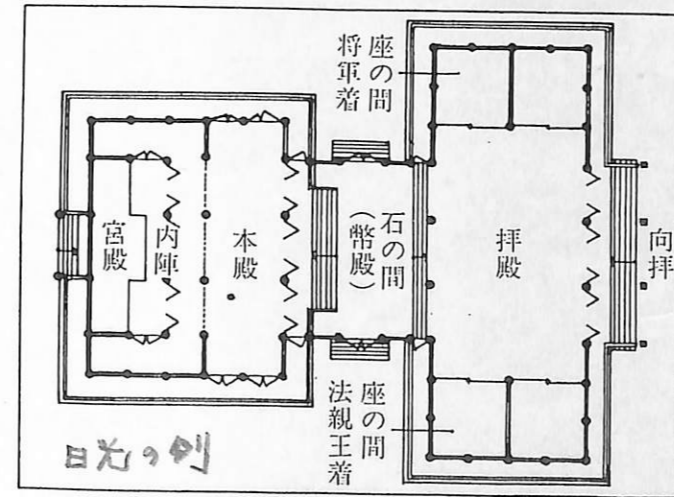
- ①東照宮=徳川家康を祀る。全国に300社。官製は日光、久能山、江戸城紅葉山と4社。慶安4年家康36回忌にあわせて家光が造営。のち吉宗、慶喜を合祀
- ②明神大鳥居=寛永10年、大老酒井忠世奉納。重要文化財
- ③石灯笼=慶安4年家康36回忌諸大名寄進。195基。おぼけ灯笼=高さ7m。佐久間勝之寄進
- ④正門=水盤舎を改造。阿部重次寄進。水盤舎=明治6年新門辰五郎ら寄進
- ⑤青銅灯笼=藤堂高虎、松平直政ら寄進=50基。重要文化財
- ⑥御三家青銅灯笼=尾張光義、紀伊頼宣、水戸頼房寄進。重要文化財
- ⑦唐門=切妻屋根唐破風4脚門、みごとな扉門金箔透彫り。左甚五郎上り龍、下り龍。国宝透かし扉=延べ160m。1間ごとに鳥と魚雌雄1対ずつ彫刻。朱の上の金箔は予算なし。国宝社殿=権現造り。金箔、彩色彫刻の美しさが桃山文化の遺風を伝える。国宝拝殿=入母屋造り、正面千鳥破風。後水尾天皇勅額、壁画彩色唐獅子狩野探幽、家康陣羽織などゆかりの品。36歌仙 テープの説明を聞きながら小休止
弊殿(石の間)=一段床が低く厚畳、將軍の間。両開き唐戸
本殿=奥に内殿、御神体安置
- ⑧五重塔=寛永16年土井利勝寄進。高さ36m。上野動物園からはもう少しよく見える

2 4) 花園稲荷(穴稲荷)、五条天神社

- ①穴稲荷=上野の山の守り神。薄暗い石窟に祠。夏でもヒヤリ
- ②五条天神社=病氣平癒に霊剣。菅原道真祀り下谷天満宮とも

2 5) 清水観音

- ①寛永8年建造。元禄11年林氏学問所跡に移築
観音堂=桁行5間(間口12m) 梁間4間(奥行9m) 入母屋屋根、舞台造り。重要文化財
- ②本尊観音像=京都清水寺寄進。重要文化財
擬宝珠、絵馬、子育観音、人形供養、秋色桜句碑



カ2重廟

日本坊表門

清水観音堂

両大師

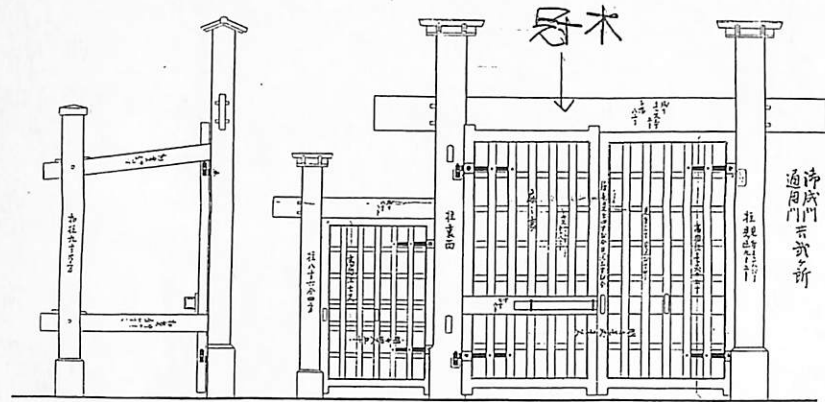
江戸時代の建築技術の頂点。精密華麗な彫刻、金箔押し漆塗など豪華意匠に注目
④5代將軍綱吉唐銅製宝塔。8代將軍吉宗、13代將軍家定夫妻石造宝塔ほか享保の改革以降の將軍は同居、石塔に。内部は立ち入れないので周囲から垣間見る

- 1 6) 4代將軍家綱霊廟
 - ①3代將軍家光の長男。病弱ではあったが家光の急逝で11才で相続
井伊直孝、酒井忠勝、松平信綱らブレーンにも恵まれたが床の間の飾り
 - ②勅額門、水盤舎が現存。門は重要文化財
 - ③4代將軍家綱唐銅製宝塔。10代將軍家治、11代將軍家斉石造宝塔
- 1 7) 3代將軍家光位牌所跡
 - ①2代將軍秀忠の長男。家康、秀忠に続いて幕府基盤を確立
 - ②寛永寺で葬儀、日光に移葬。供養塔、霊殿(位牌所)をおいたが焼失
 - ③大ゆう院殿尊前、没年の慶安4年を刻んだ京極家寄進石灯笼が現存、跡碑も無くなる
- 1 8) 現龍院殉死者の墓
 - ①3代將軍家光に殉死した堀田正盛、阿部重次、内田正信が眠る。中には入れない
 - ②このころまで殉死は忠義。寛文3年殉死禁止令前の貴重な史蹟
- 1 9) 両大師(輪王殿)
 - ①移築寛永寺旧本坊表門=3間1戸切妻本瓦葺き。薬医門。寛永年間建立。重要文化財
上野戦争で奇蹟的に残るが弾痕も生々しい
 - ②寛永寺開山天海と天台宗座主良源を祀る。本堂寛永4年、開山堂天明元年、銅製灯笼
- 2 0) 東京国立博物館、池田屋敷表門
 - ①寛永寺本坊跡。輪王寺宮居住地
 - ②移築鳥取池田藩丸の内上屋敷表門。国持大名門、両番所張出し。最高格式の大名門
- 2 1) 上野公園大噴水(昼食休憩)
 - 時 分まで。解散地集合



彰義隊の墓

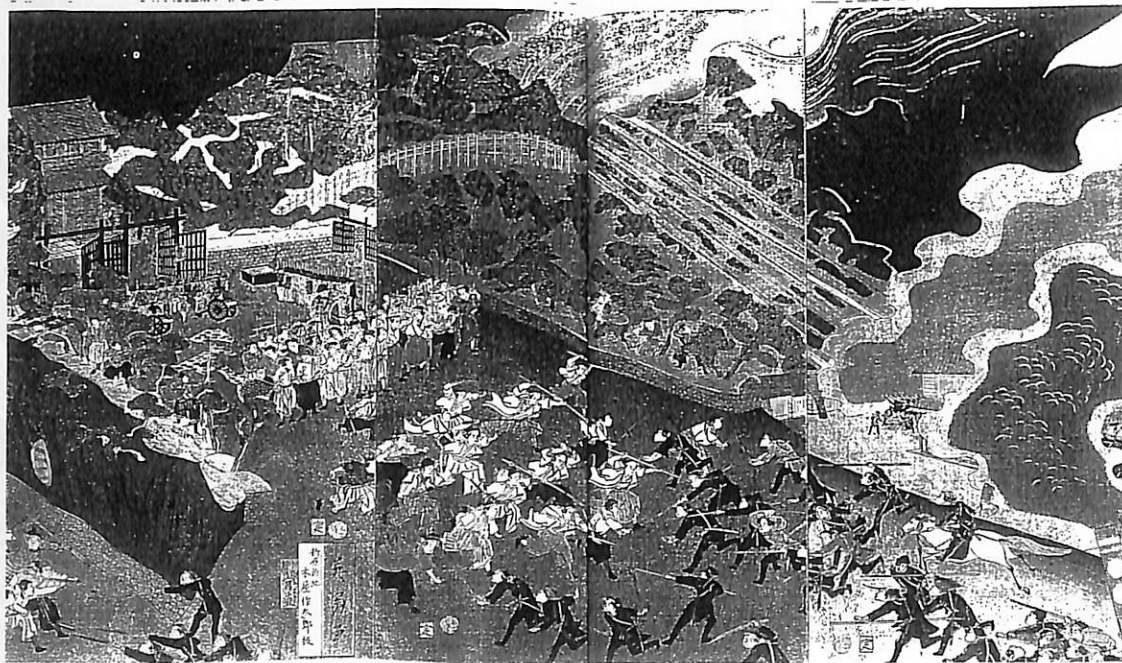
弘化三年(1822) 大塚宗 甲斐守若狭守



東叡山寛永寺正門繪圖 各段高多量



西郷さん



上野戦

26) 天海僧正毛髮塔

- ①天海僧正=徳川家康の政治顧問。秀忠、家光に仕え、寛永寺を開山。墓所は日光
- ②かつて天海の供養塔があり、そこに遺髪を納めた

27) 彰義隊墓所、資料館

- ①彰義隊=慶応4年謹慎中の徳川慶喜身辺警護のため結成された旧幕府公認自警団 慶喜の水戸隠退で使命終えたが、以後輪王寺宮警護名目で居座る 抗戦派+旧幕臣2~3千人が集結。江戸に進攻した新政府軍と対決
- ②戦死の墓、彰義隊戦死の墓=みせしめ放置された戦死者266名をダビに付す

28) 西郷隆盛像

- ①西郷隆盛=明治維新元勳。薩摩島津藩の下級武士に生まれ、留守居(外交官)として活躍 新政府軍(官軍)東征大総督参謀。勝海舟と会談、江戸総攻撃を中止。上野戦争を指揮 明治10年征韓論に敗れ下野。西南戦争を起し鹿児島城島で自刃
- ②銅像=明治の代表的彫刻家高村光雲作。明治31年除幕、妻イト参列、似ていないと泣く 上野公園のシンボル。視線は東京湾から太平洋に。西郷の視野は世界に?

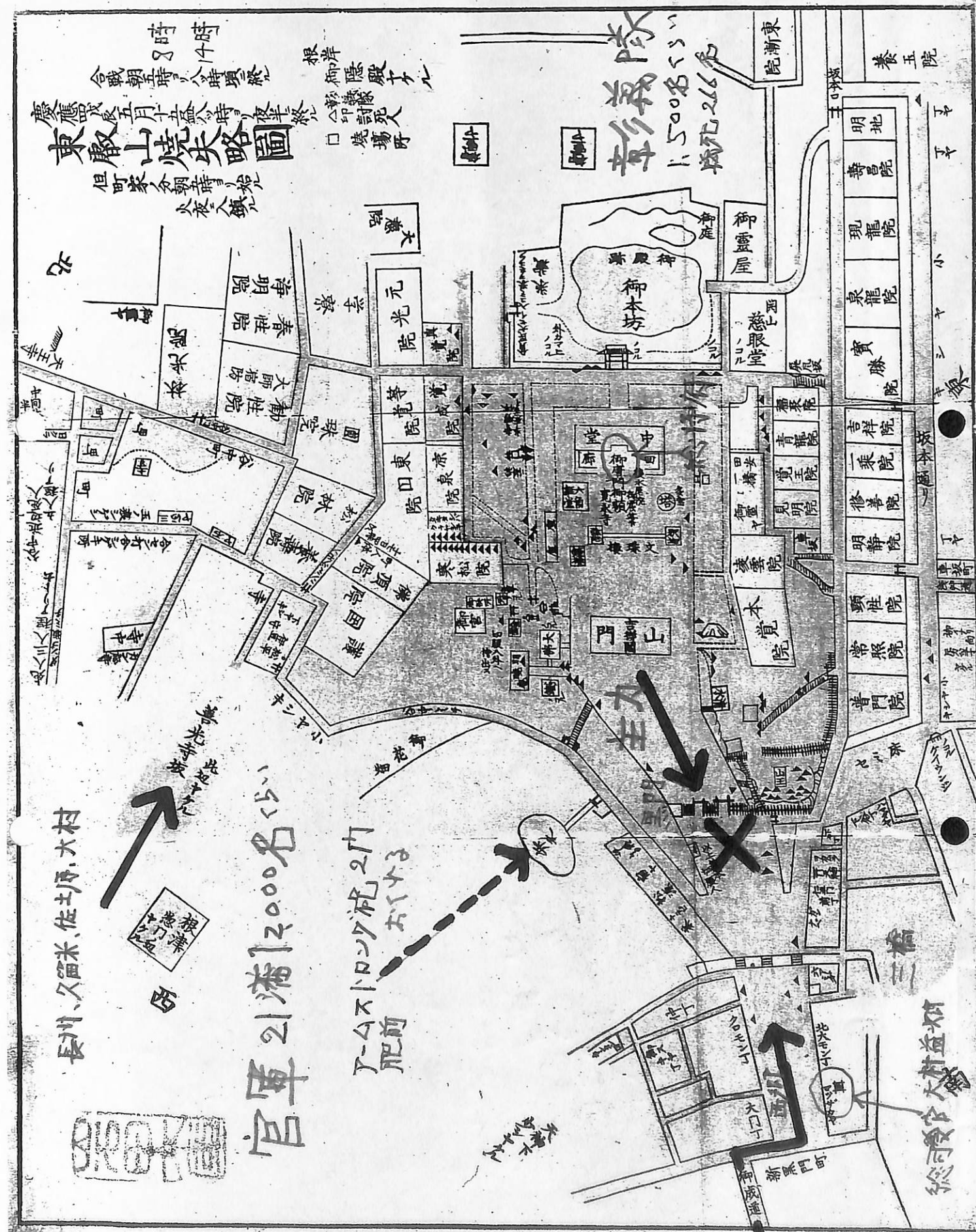
29) 黒門跡、下谷広小路上野戦争最激戦地跡

- ①慶応4年(明治元年)5月15日(新暦7月はじめ=梅雨期)朝激突。天候雨
- ②彰義隊=隊長旗本池田大隅守。天野八郎、覚王院義観ら千5百人? 黒門(寛永寺正門)に主力部隊を結集。門内にフランス砲3門、広小路に向ける
- ③新政府軍=総司令官大村益次郎(本営松坂屋2階)21藩1万5千人? 主力薩摩軍=西郷隆盛。因幡、肥後ら広小路上に布陣。砲7門を持ち込んだが狭く4門を配備
- ④黒門争奪をかけて小銃による白兵戦はじまる。彰義隊有利 午後、延着したアームストロング砲が火を吹く。偽装隊上野山突入、黒門落ちる 2時ころ全山火災、彰義隊根岸方面に敗走

30) 不忍池、弁天島 (時間により省略することがあります)

- ①不忍池由来碑=古くは海。海岸線の後退で沼地に。語源は前出参照
- ②弁天堂=寛永時代造営、寛文年間に橋で結ぶ。弁才天=音曲の神様

以上



東叡山焼失略図(慶応四年=1868)

幕末推訂各地図大図録

上野 东照宫

昇殿参拝券

No 036561



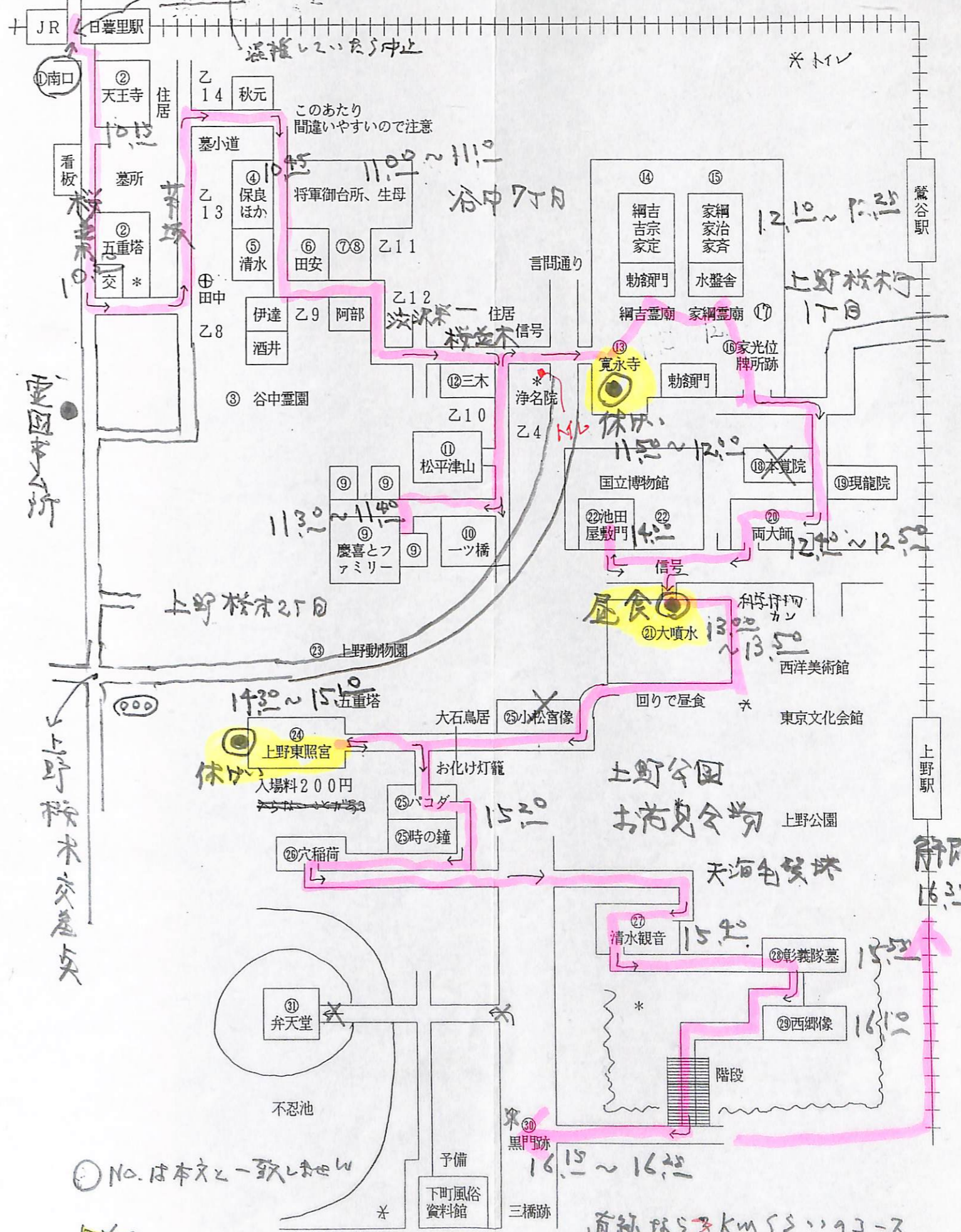
高野山



車道事項 4月か 87
 萩田229部が2熱田白代の
 参加 兼車取五林?
 赤いカードは白の年賀に用意した...

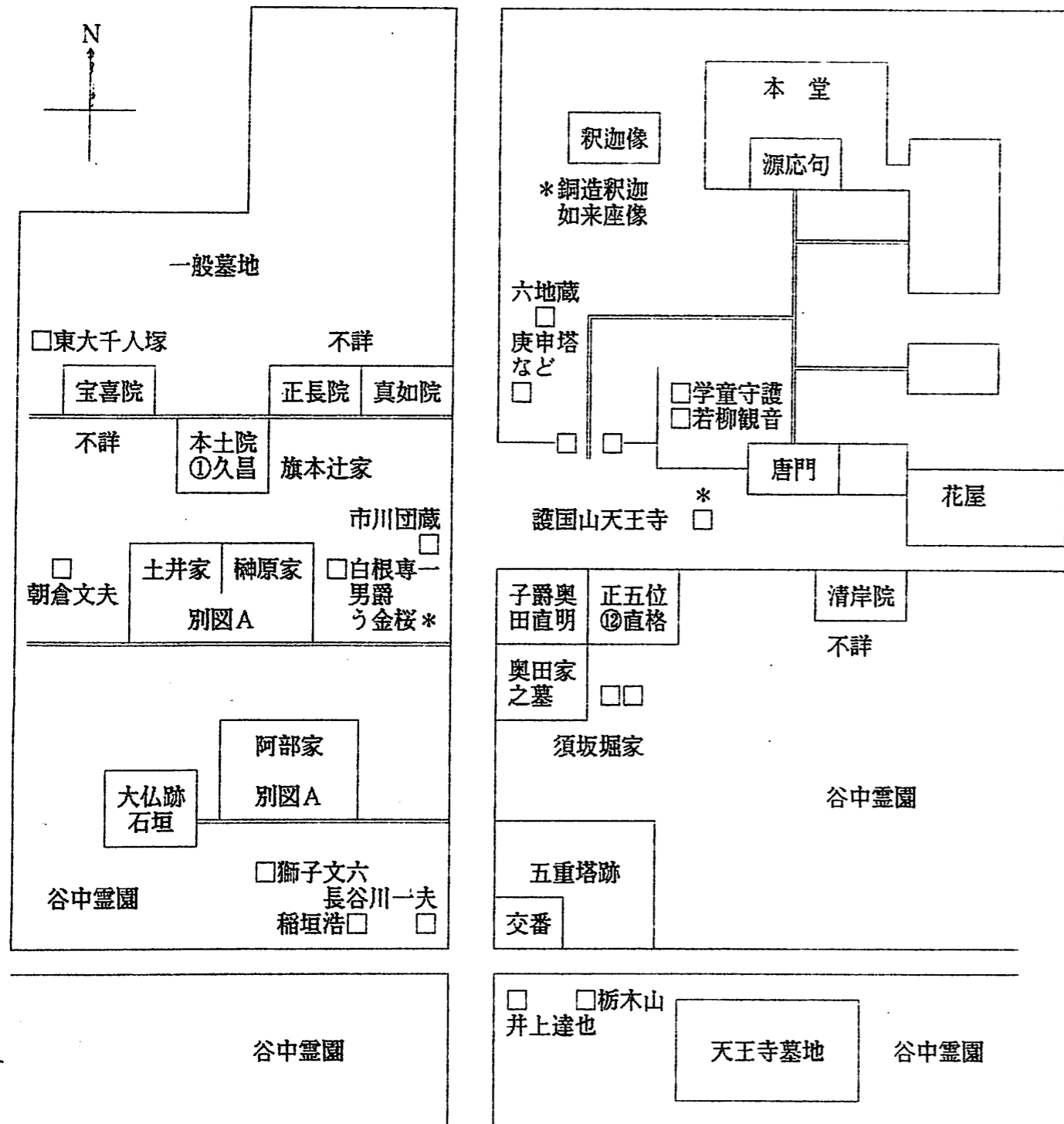
谷中ボチヤだといふ人がいた
 場合の回ヒコス
 (地図をわらす)

南会式 10:00~10:10 世人用タイムスケジュール



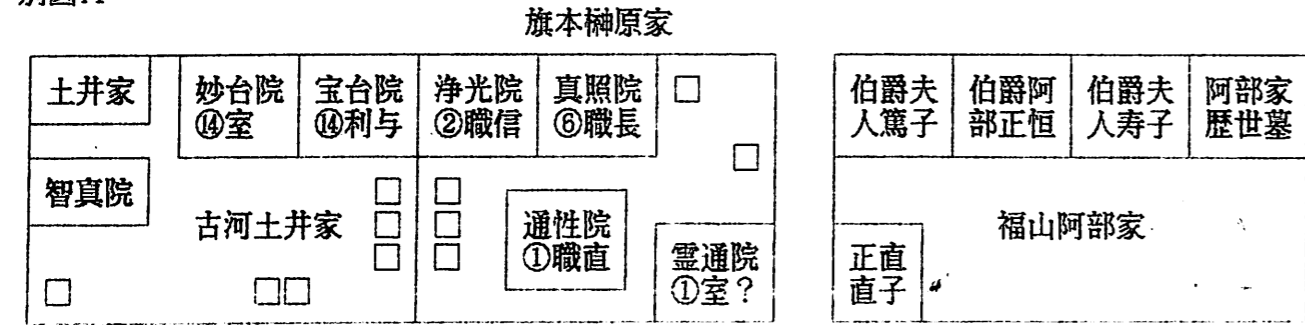
○No.は本文と一致させたい
 午前9
 スケジュール厳い92進行に協力させたい
 直線は5km55...g...入

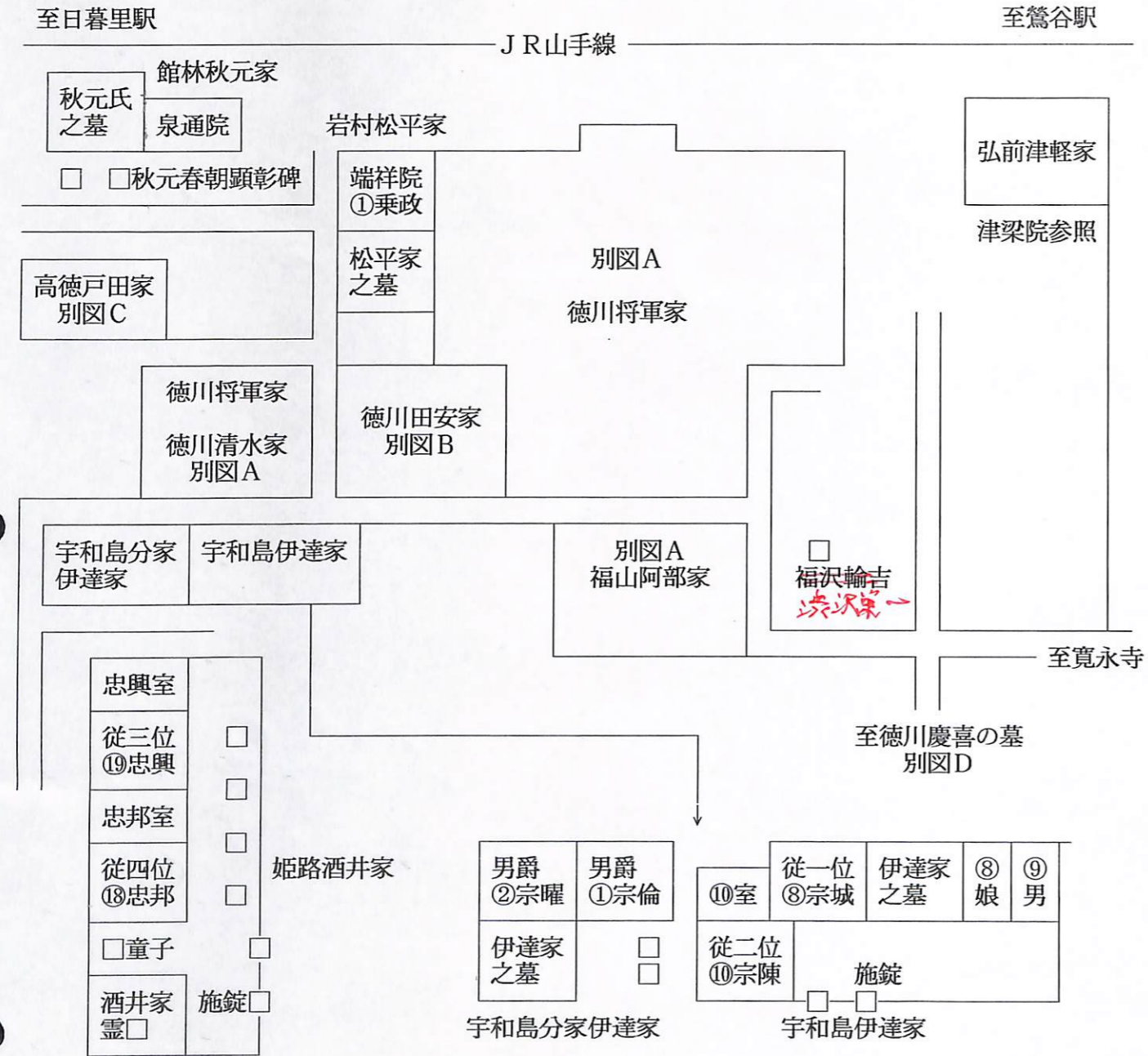
天王寺 (天台宗) 台東区谷中7-14 (一部谷中霊園を含む)



主要墓碑
 須坂堀 (奥田) 家
 ①直格 = 須坂藩11代正五位奥田直格1806~1880 (柱型およそ2m = 明治13年)
 ④直明 = 正五位勲四等子爵奥田直明之墓 (" = 明治19年)
 奥田家之墓 = 明治以降合祀
 古河土井家
 ④利与 = 宝台院殿仁譽昌徳利与大居士、従二位子爵土井利与 (角柱およそ3m = 昭和4年)
 ④" 室 = 妙台院殿芳肅慧芳大姉 (" = 明治22年)
 ④" 継室? = 智真院殿温誉明鏡永寿大姉 (" = 大正8年)
 土井家 = 以降合祀 (横型1m)
 福山阿部家
 ④正恒 = 従二位勲四等伯爵阿部正恒墓 (経歴記載) (角柱およそ4m)
 ⑤正直 = 正三位勲四等阿部正直、妻直子之墓 (" (角柱およそ2m)
 阿部家歴世之墓 = 以降合祀
 旗本榊原家 (2,500石)
 ①職直 = 通性院殿前従五位下道空日幸居士位 (宝きょうおよそ3.5m = 慶安元年)
 ①" 室難波氏? = 霊通院殿妙蓮日相禅定尼 (" = 寛文元年)
 ②職信 = 浄光院殿玄融日性霊 (" = 寛文16年)
 ⑥職長 = 掃莫真照院殿観徹正信士 (位牌型およそ2m = 元禄12年)
 旗本辻家 (750石)
 ①久昌 = 本土院寂照日安幽儀、清高院妙相日徳淑位、辻忠兵衛久昌 (五輪塔およそ2.5m = 寛永14年)
 東京大学医学部千人塚
 宝喜院殿日保尾淑位、東京大学医学部 (宝きょうおよそ3m = 寛永13年、昭和53年)
 不詳
 清岸院殿覚翁善真居士 (変形五輪塔およそ3m = 明暦2年)
 真如院殿玄澄 (宝きょうおよそ3m = 元和6年)
 正長院殿日蔵淑位 (" = 寛永10年)

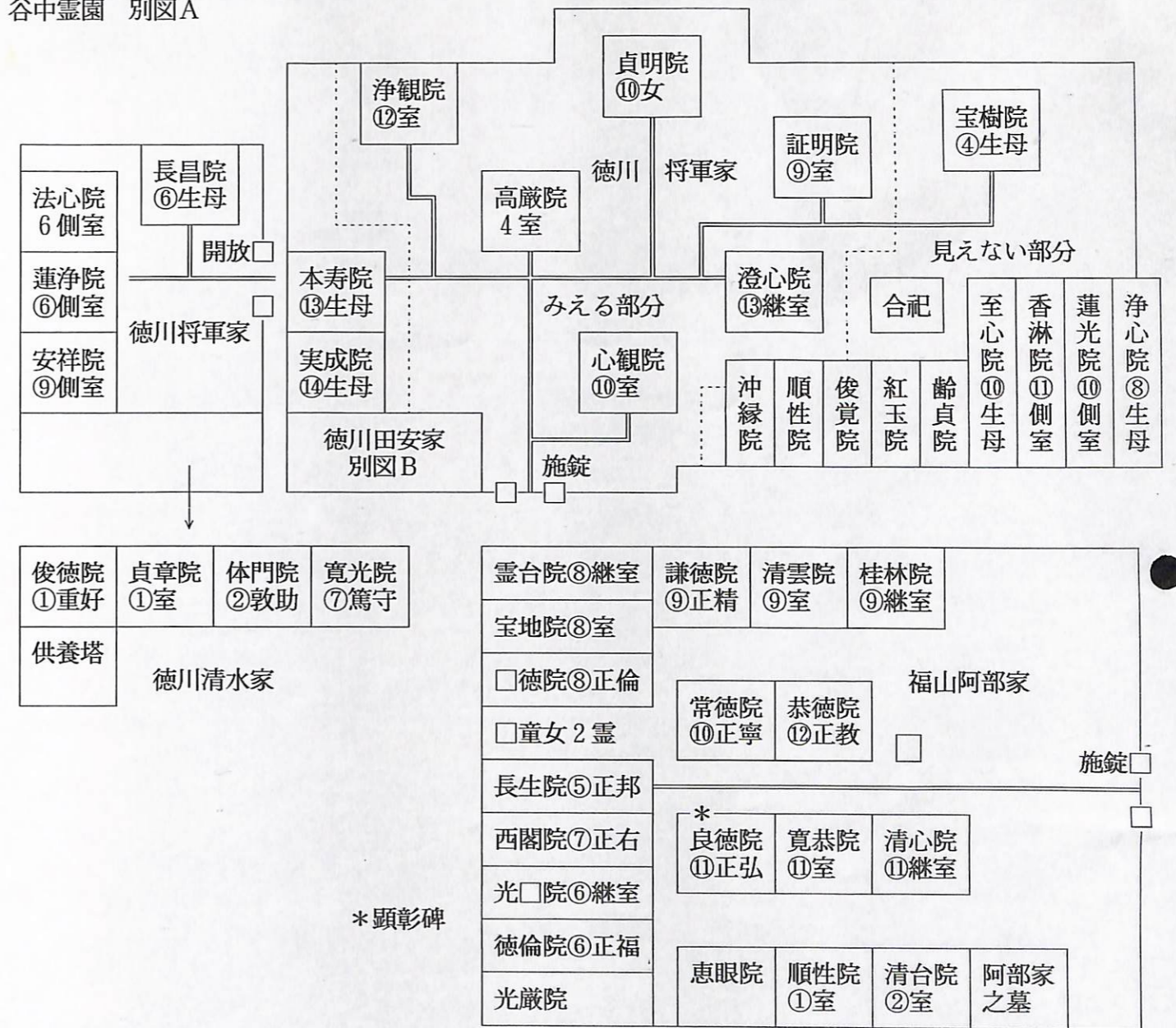
別図A



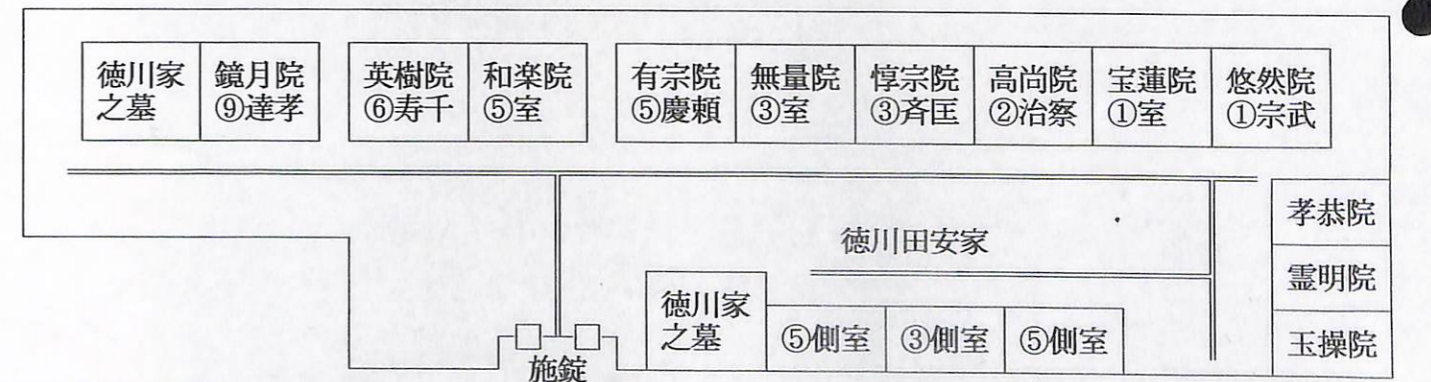


主要墓碑
宇和島伊達家、分家伊達家
⑧宗城=從一位勲一等伊達宗城公之墓、靖国院殿藍山維城大居士 (位牌型5.2m=明治25年)
①宗倫=從五位男爵伊達宗倫之墓 (角柱石垣上2m)
②宗曜=正四位男爵伊達宗曜墓 (角柱2m=大正11年)
岩村松平家
①乗政=端祥院殿感巖道応大居士、信州小諸城主從五位下美作守源姓石川氏乗政 (五輪塔=貞享元年)
松平家之墓=⑨子爵乘長以降合祀 (角石=昭和26年)
姫路酒井家
⑬忠邦=從四位酒井忠邦墓 (角柱3m=平成再建)
⑩忠興=從三位伯爵酒井忠興墓 (〃)
館林秋元家
不詳=泉通院殿高碑林淑靈 (宝きょう2.5m=慶安5年)
秋元氏之墓=合祀

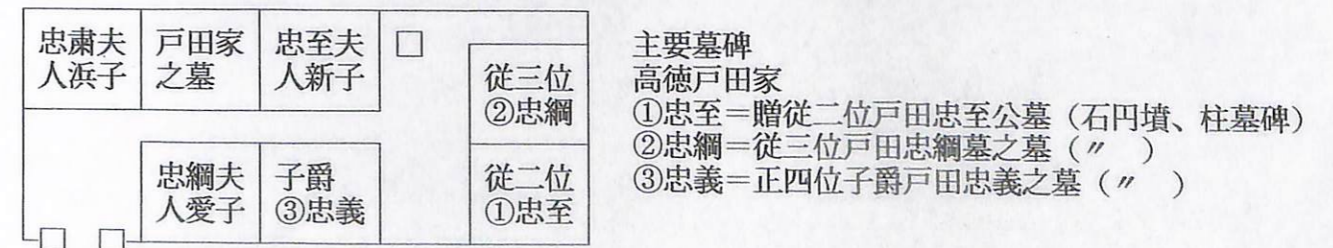
谷中霊園 別図A

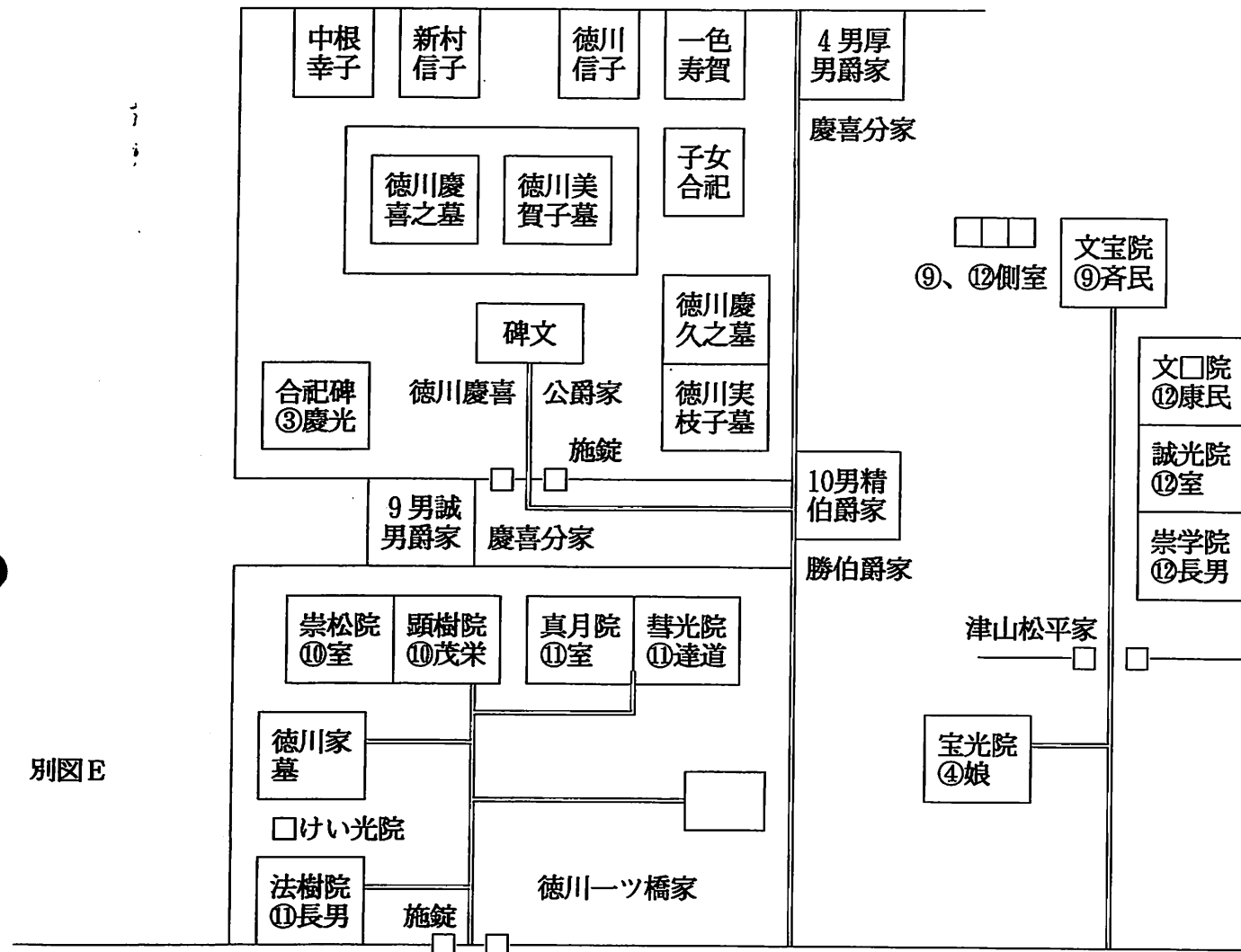


谷中霊園 別図B

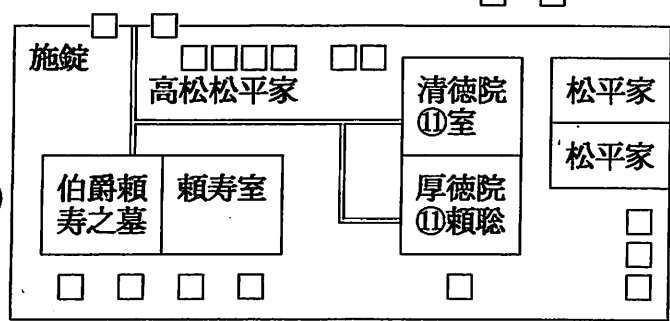


谷中霊園 別図C



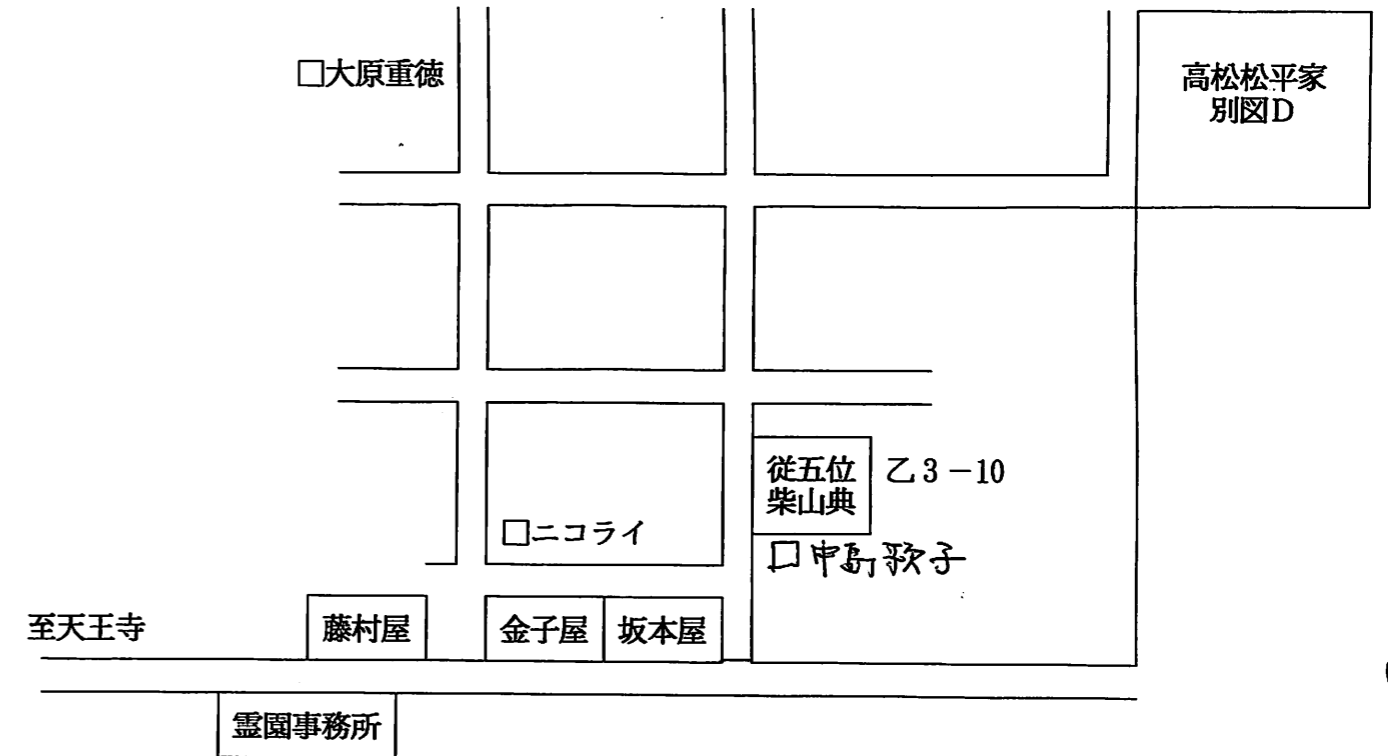
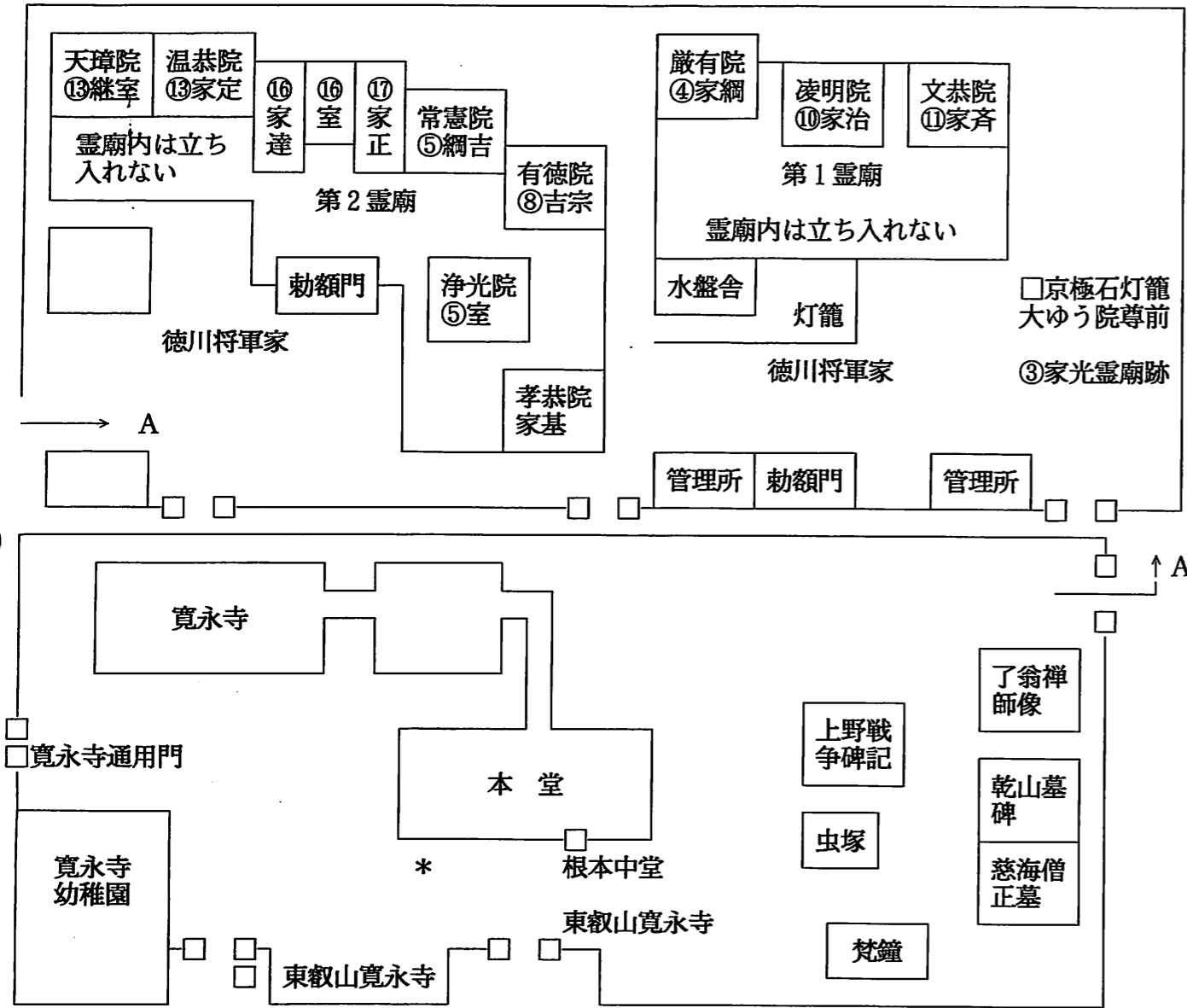


別図E



- 主要墓碑**
德川慶喜家
 ①慶喜=從一位勲一等德川慶喜之墓(石円墳=大正2年)
 ①" 室今出川公久娘美賀子=德川美賀子之墓("=明治27年、39年改葬)
 ①" 側室中根芳三郎娘幸子=中根幸子之墓("=大正4年)
 ①" 側室松平寛十郎娘信子=新村信子之墓("=明治38年)
 ②慶久=正三位勲三等侯爵德川慶久之墓("=大正11年)
德川一ツ橋家
 ①茂栄=頭樹院殿正二位莊徳玄同大居士(位牌型=明治17年)
 ①達道=慧光院殿超達道観大居士(笠塔婆=昭和19年)
德川家墓(②治濟)=俱会一処(①宗尹、②治濟、③齊敦、④齊礼、⑤齊位、⑥慶昌、⑦慶寿、⑧昌丸、①生母深心院殿、婦女子合祀)(宝塔)
津山松平家
 ⑨齊民(德川家齊16男)=文定院殿成誉寂然確堂大居士(六角柱=明治24年)
 ⑫康民=文都院殿惠誉秀徳蘭溪大居士(六角柱=大正10年)
 ④宗員娘?、合祀碑=無記。宝光院殿? (①光長、③浅五郎、④長〇、⑤長孝、⑥康致、⑦康又、①室ほか婦女子合祀)(五輪塔=享保17年?、昭和2年)
高松松平家
 ①頼聡=厚徳院殿〇蓮社温誉知遠源〇大居士(卵塔3.8m=明治36年)
 ②頼寿=正二位勲一等伯爵松平頼寿之墓、大観院殿信蓮社恪誉象嶽源恭大居士(笠塔婆=昭和19年)

- 主要墓碑**
德川将軍家(御台所墓所)
 ③家光側室榮=無記(宝樹院殿華城天栄大姉)(八角宝塔=承応元年)
 ③" 岡部重家娘夏=順性院殿妙喜日円大姉、綱重卿生母俗名貞(角石=天和3年、昭和2年、昭和5年)
 ③" 2男綱重継室山科言行娘=紅玉院殿性誉法君清月大信女、清揚院殿後室(寛文13年、昭和4年)
 ③" 3男鶴松=齡真院殿秋感利貞大童子、大ゆう院殿3男俗名鶴松(角石=慶安元年、昭和3年)
 ④家綱室伏見貞清娘頭子=無記(高蔵院殿月潤円真大姉)(八角宝塔=延宝9年)
 ⑥家宣4男虎吉=俊覚院殿霜岸智英大童子(角石=正徳元年、昭和3年)
 ⑧吉宗生母巨勢利清娘紋子=無記(浄門院禅台智鏡大姉)(宝塔=享保11年)
 ⑨家重室伏見邦永娘培子=無記(証明院殿智岸真恵大姉)(宝塔=享保18年)
 ⑨" 側室梅溪通条娘幸子=無記(至心院観真円如大姉)(宝塔=延享5年)
 ⑩家治室閑院直仁娘倫子=無記(心観院殿浄池蓮生大姉)(八角宝塔=明和8年)
 ⑩" 側室津田信成娘知保=無記(蓮光院法妙善潤大姉)(宝塔=寛政3年)
 ⑪家斉側室押田敏勝娘羅久=無記(香琳院正諦映心大姉)(宝塔=文化7年)
 ⑪" 娘格姫=冲縁院明相馨信大童女(五輪塔=寛政11年)
 ⑫家慶室有栖川織仁娘喬子=無記(浄観院殿慈門妙信大姉)(八角宝塔=天保11年)
 ⑫" 側室跡部正賢娘堅子=本寿院遠恒妙堅大姉、温恭院殿生母通商堅子、幕府旗下士跡部正賢之女(笠塔婆=明治18年)
 ⑫" 娘〇姫=無記(貞明院殿華月清蓮大姉)(宝塔=天保11年)
 ⑬家定継室一条忠良娘秀子=無記(澄心院殿珠現円照大姉)(宝塔=嘉永3年)
 ⑭家茂生母松平普娘操子=実成院清操妙寿大姉、昭徳院殿生母操子、松平六郎右衛門普女(笠塔婆=明治37年)
德川家之墓=子女側室合祀
 ③家光2男綱重側室田中勝宗娘保良=無記(長昌院殿天岳台光大姉)(宝塔=寛文4年)
 ⑤綱吉室鷹司房輔娘信子=無記(浄光院殿円岸心珠大姉)(宝塔=宝永6年)
 ⑥家宣側室太田宗順娘古牟=法心院殿遍浄宝覚大姉(五輪塔=明和3年)
 ⑥" 園池季豊娘須逸=蓮浄院靈池慧〇大姉(五輪塔=明和6年)
 ⑨家重側室三浦義周娘千勢=安祥院受徳光潤大姉(五輪塔=寛政元年)
 ⑩家治2女万寿姫=無記(乘台院殿蓮界巖大姉)(宝塔=安永2年)
 ⑬家達長女=松月院殿影光妙智大童女(笠塔婆=明治22年)
德川田安家
 ①宗武=悠然院殿(宝塔=明和8年、昭和9年改葬)
 ①" 室近衛家久娘通子=宝蓮院殿("=天明6年、昭和9年改葬)
 ②治察=高尚院殿("=安永3年、昭和9年改葬)
 ③齐匡=惇宗院殿("=嘉永元年、昭和9年改葬)
 ⑤慶頼=有宗院殿("=明治9年、昭和9年改葬)
 ⑥寿千代=英樹院殿("=元治2年、昭和9年改葬)
德川家墓=歴代婦女子合祀
德川清水家
 ①重好=俊徳院殿(体空遊心大居士)(宝塔=寛政7年)
 ①" 室伏見貞建娘貞子=貞章院殿(妙観心月大姉)(宝きょう=文政3年)
 ②敦之助=体門院殿真際彰善大童子("=寛政11年)
 ⑦篤守=寛光院修性養徳大居士(角石=大正13年)
福山阿部家
 ①正次室佐原義成娘=順性院殿妙了薫日佳淑霊(五輪塔=寛永6年)
 ②重次室三浦重成娘=清台院殿浄誉妙薫大禪定尼(宝きょう=元和7年)
 ⑤正邦=長生院殿尋誉耀海口岸大居士、備之後州福山城主從四位下行備中守阿部朝臣正邦之塔(五輪塔=正徳5年)
 ⑥正福=徳倫院殿楼誉祐善寿山大居士、備之後州福山城主四品阿部勢州太守藤原朝臣正福之塔("=明和6年)
 ⑦正右=西閣院殿楼誉託方練契大居士、備之後州福山城主從四位下拾遺阿部予州太守藤原朝臣正右之塔("=明和6年)
 ⑧正倫=〇徳院殿勇誉哲心義山大居士、備後福山城主從四位下伊勢守阿部正倫之墓("=文化2年)
 ⑨正精=謙徳院殿満誉清高良節大居士、備後福山城主侍從備中守從四位下阿部朝臣正精墓("=文政9年)
 ⑩正寧=常徳院殿寛誉主善元良大居士、故備後福山城主從五位下伊予守阿部朝臣正寧墓("=明治3年)
 ⑪正弘=良徳院殿高誉信義節道大居士、備後福山城主侍從伊勢守從四位下阿部朝臣正弘墓("=安政4年)
 ⑫正教=恭徳院殿温誉覚了法性大居士、備後福山城主伊予守從五位下阿部朝臣正教墓("=文久元年)
阿部家之墓=婦女子ほか都内各寺散在墓合祀(横型=昭和3年)



主要墓碑
 房総知県事柴山家
 ①典=從五位柴山典墓 (柱形およそ1m=明治17年)
 ②慎吾=柴山慎吾、妻志□墓 (〃 およそ0.5m=明治27年、大正10年)
 柴山菊野墓、柴山三四郎、中川忠太郎

- 主要墓碑
- ④家綱=無記 (厳有院殿) (宝塔=延宝8年)
 - ⑤綱吉=無記 (常憲院殿) (宝塔=宝永6年)
 - ⑤〃 室鷹司氏信子=無記 (浄光院殿) (宝塔=宝永6年)
 - ⑧吉宗=無記 (有徳院殿) (宝塔=宝暦元年)
 - ⑩家治=無記 (凌明院殿) (宝塔=天明6年)
 - ⑩〃 長男家基=無記 (孝恭院殿) (宝塔=安永8年)
 - ⑪家斉=無記 (文恭院殿) (宝塔=天保12年)
 - ⑬家定=無記 (温恭院殿) (宝塔=安政5年)
 - ⑬〃 室島津氏敬子=無記 (天璋院殿) (宝塔=明治16年)
 - ⑯家達=從一位大勲位公爵徳川家達 (笠塔婆石垣上3.7m=昭和15年)
 - ⑯〃 室近衛氏泰子=貞恭院殿泰室香婉大姉 (笠塔婆石垣上3.7m=昭和19年)
 - ⑰家正=徳川宗家宝塔 (笠塔婆石垣上3.7m=昭和38年)

上野公園略図



★唐門（唐破風造り四脚門）一慶安4年（1651年）建築。明治40年国宝指定。総金箔の門で、両側上部にある松竹梅と錦鶏鳥の透彫は殊に室町、桃山の技術を集大成したものとして評価されている。柱内外4額面には、不忍池の水を飲みに行ったという左甚五郎作の昇り竜、降り竜があり講談などで馴染み深いものである。

★透塀一慶安4年（1651年）建築。明治40年国宝指定。総金箔の門であったが、国の予算がないまま現在下地漆塗りに留めている。上下にある彫刻もすべて極彩色であり、上欄には花木山禽、下欄には水草鳥魚をあしらい、その数約300枚あったが、戦後進駐軍の土産に持ち去られ現在は約250枚程となった。現在作らせると一枚20万円であるところから、この社殿の現代的な価値も想像出来ると思う。

★拜殿一慶安4年建築。明治40年国宝指定。間口7間、奥行3間で日光に次ぐ結構である。幣殿、本殿と共に銅板葺き屋根であり、日本には二つしかない。（中尊寺光堂）金色殿として有名である。三方の浜縁は総黒漆塗りである。天井は一尺拵目の格天井で、中央正面にある「東照宮」額は後水尾天皇真筆で純金である。壁画は狩野探幽の筆になるもので、桃山期の画風をほうふつとさせる華麗なものである。

★幣殿一慶安4年建築。明治40年国宝指定。将軍家の間で、長押上の松に鷹、鳳凰に牡丹の彫刻や、狩野派の壁画が名高い。

★本殿一慶安4年建築。明治40年国宝指定。内部は前後に格柵戸に依って敷切られ、後部は、金梨地の浜縁に巡らされた総金箔の社殿によって占められている。ここに家康公、吉宗公、寒松院、天海、僧正の御神体が安置されている。本宮を三所大権現と称していたのも、ここから起っている。

★表参道大石鳥居一寛永10年、1633年酒井忠世建築奉納。昭和17年国宝指定。関東大震災の折にも微動だにできなかった程、基礎工事が完全であるというので、建築界の驚異の的となっているものである。

縁起・元和2年（1616年）2月4日、見舞いの為に駿府城にいた藤堂高虎と天海僧正は、危篤の家康公の病床に呼ばれ神君より三人一処に末永く魂鎮まるところを造って欲しいと遺言をされた。そこで藤堂家の屋敷地であるこの上野の山に、寛永4年、1627年に東照宮を造営した。けれど家光将軍は、この建物に満足出来ず、慶安4年、江戸の象徴、金色殿として改築した。

城と史跡を歩く会

第2回 4月 6日 (金曜日)

上野公園周辺、寛永寺、谷中を歩く (お花見)
 八幡宿駅 8時10分乗車、蘇我京葉線乗換 (座れます)、日暮里駅下車
 主なコース) 天王寺 — 谷中霊園将軍御台所墓所 — 徳川慶喜の墓 —
 寛永寺 — 徳川将軍霊廟 (垣間みる)、勅額門 — 両大師 —
 池田屋敷門 — 上野公園 (昼食) — 清水堂 — 彰義隊の墓 — 上野
 戦争最激戦地跡 — 上野東照宮 (200円) — 上野駅 — 八幡宿駅



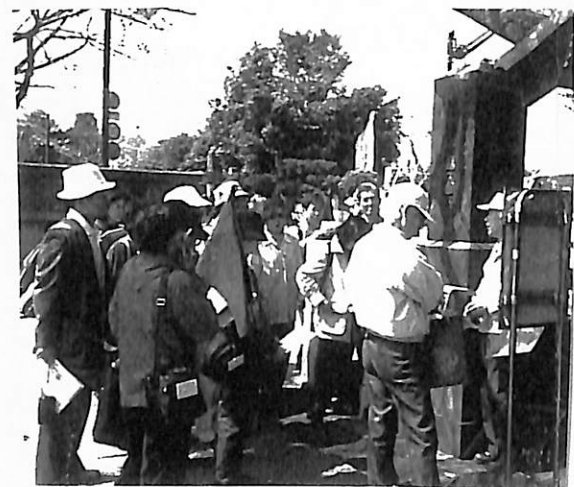
No 036559



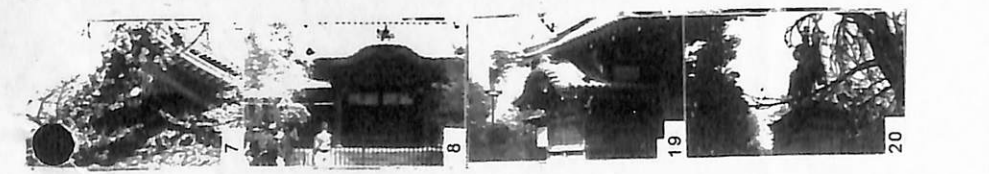
東照宮



寛永寺の記念写真



スカーブ



恒向の吉家、宝塔



お休庵の墓



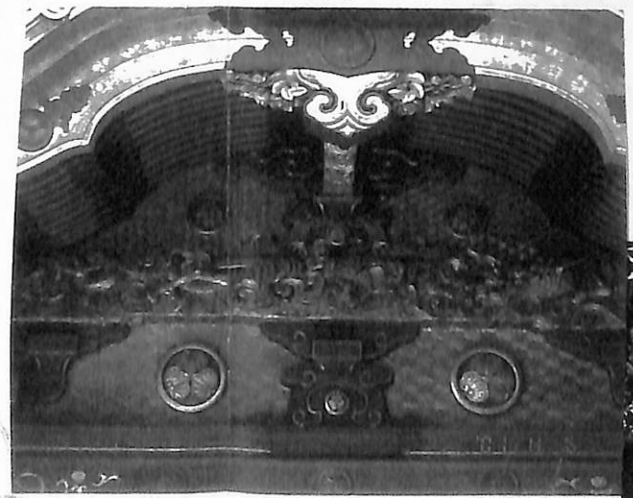
天王寺



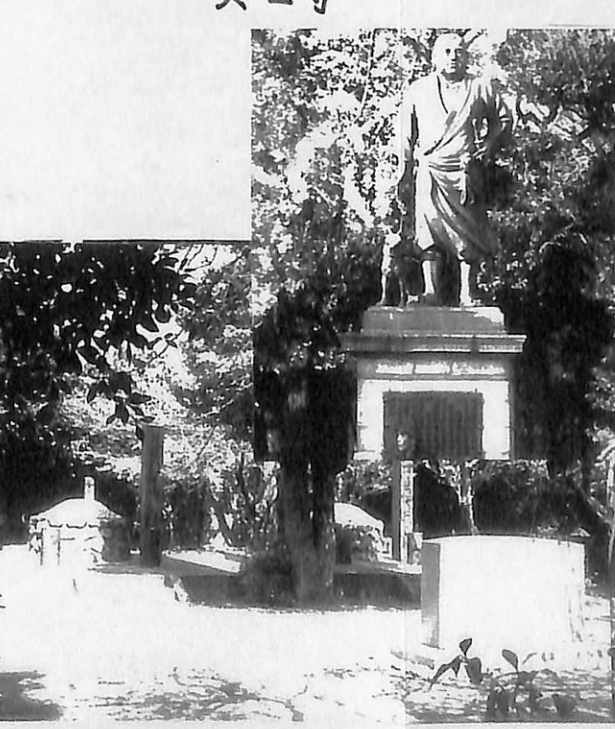
西町陸奥侯



横形園分



綱吉並柳初殿内 (部分)



廣孝夫妻の墓

家綱室朝初殿内

